



平成 26 年 1 月 31 日

各 位

会社名 電源開発株式会社
代表者名 代表取締役社長 北村 雅良
(コード：9513、東証第一部)
問合せ先 秘書広報部広報室 課長 北風 正男
(TEL. 03-3546-2211)

子会社における営業外費用（為替差損）の計上に関するお知らせ

当社の連結子会社である Gulf JP Company Limited（タイ国、当社出資 90%、以下「GJP 社」）は、平成 26 年 3 月期連結累計期間（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）において、下記のとおり営業外費用（為替差損）を計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. GJP 社の概要

- | | |
|----------|--------------------------|
| (1) 名称 | Gulf JP Company Limited |
| (2) 所在地 | タイ国バンコク市 |
| (3) 代表者 | 社長 Mr. Sarath Ratanavadi |
| (4) 事業内容 | 発電所の建設、運営等 |
| (5) 資本金 | 19,391 百万タイバーツ |
| (6) 決算日 | 12 月 31 日 |

2. 為替差損の内容

当社は GJP 社を通じて、タイ国において 7 件の 10 万 kW 級ガス火力発電所の運営および 2 件の 160 万 kW ガス火力発電所の開発を行っています。

これら計 9 件のプロジェクトからの売電収入はタイバーツ建てとなりますが、その一部は米ドルの為替変動に応じて調整されることから、これらプロジェクトに係る借入については、その確実な返済のためにタイバーツ建ておよび米ドル建てで行っています。このうち米ドル建ての債務はタイ国法人である GJP 社にとって外貨建債務となるため、決算期毎にタイバーツ建てへの換算差額が為替差損益として計上されます。

また、発電所の建設工事に係る代金については、その一部につき支払時の通貨が調達資金と異なるため、確実な代金支払いを目的に為替予約を行っておりますが、決済時または決算期毎に換算差額が為替差損益として計上されます。

今般、為替相場の変動により、これら外貨建債務および為替予約等について、概算で約 110 億円の為替差損を計上する見込みとなったものです。

3. 業績見通しへの影響

上記の為替差損の計上による当期業績への影響につきましては、本日（平成 26 年 1 月 31 日）公表の「平成 26 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」をご参照ください。

以 上

（参考）

○ 7 件の 10 万 kW 級ガス火力発電所の概要

位置	発電方式	出力	プロジェクト会社名	運転開始
サラブリー県	ガス*	11 万 kW	Gulf JP KP1 社	平成 25 年 1 月 5 日
		11 万 kW	Gulf JP KP2 社	平成 25 年 2 月 1 日
		11 万 kW	Gulf JP TLC 社	平成 25 年 3 月 1 日
チェチェンサオ県		11 万 kW	Gulf JP NNK 社	平成 25 年 4 月 1 日
ラヨン県		12 万 kW	Gulf JP NLL 社	平成 25 年 5 月 1 日
バトゥムタニ県		11 万 kW	Gulf JP CRN 社	平成 25 年 7 月 1 日
サラブリー県		12 万 kW	Gulf JP NK2 社	平成 25 年 10 月 1 日

○ 2 件の 160 万 kW ガス火力発電所の概要

位置	発電方式	出力	地点名	運転開始（予定）
サラブリー県	ガス*	160 万 kW (80 万 kW×2)	ノンセン地点	1 号：平成 26 年 6 月
				2 号：平成 26 年 12 月
アユタヤ県		160 万 kW (80 万 kW×2)	ウタイ地点	1 号：平成 27 年 6 月
				2 号：平成 27 年 12 月

* ガスタービン・コンバインドサイクル発電